



10年の歴史を祝う
久米島西中10周年記念式典・祝賀会

創立10周年を迎えた久米島西中学校で、12月10日、記念式典・祝賀会が同校体育館で行われました。久米島西中は平成19年に比屋定中と具志川中の統合により新設されました。式典では、歴代校長をはじめ校歌の作詞、作曲者など創立に貢献した19人が表彰されました。祝賀会では、同校吹奏楽部の演奏や各校区の保護者らの余興が披露されました。式典前には、譜久里武さん(字山城出身)による記念講演会も行われました。

子供も大人も元気になれる修学旅行民泊！
磐田東高校(静岡県)、滋賀県立草津高校を受入

久米島の民泊受入家庭28軒が、12月4日～3連泊2校308人の県外高校生修学旅行を受入しました。磐田東高校は平成26年度に久米島民泊事業が開始して受け入れた初めての学校で、以来4年連続で来島しています。今回は、夕食を具志川改善センターで受入民家17軒と生徒74人の総勢約120人で大交流会を行ないました。久米島漁協の美味しい魚料理をいただきながら、沖縄の民謡などを披露し、最後はカチャーシーで盛り上がりました。



飲酒運転の根絶を目指して
年末年始の交通安全県民運動

12月21日～1月4日の15日間、「飲酒運転は絶対だめだよ! わかるよね」をスローガンに年末年始の交通安全県民運動が実施されました。久米島町では12月21日交通安全協会、交番、婦人会、青年会、区長などと協力し、飲食店等にポスターやチラシを配布しました。忘新年会などで飲酒の機会が増えるこの時期に、飲酒運転にストップをかけようと、お客様へ注意喚起するように各店舗を訪問し、協力を呼びかけました。



島の魅力を詰め込んだドリームマンション
久小5年生が提言

12月22日、久米島小学校5年生9人が町議会議場で大田町長や町議らに島の将来像について提言しました。県離島体験交流促進事業で7月21日～24日に伊良部島で農漁業や民泊を体験して学んだことを通して、島の将来像を描きました。自然や文化、クルマエビや海ブドウなどの産物など久米島の魅力を詰め込んだ地下3階、地上10階建ての「ドリームマンション球美知る」を考え、観光客増加や人口減少解決につなげたいと元気良く発表しました。



スイングに心躍らせて
くめじま ふれあいドキドキコンサート

12月16日、「くめじま! ふれあいドキドキ! コンサート」が仲里小学校体育館で午後5時30分から行われました。来場者は、沖縄県小学校バンドフェスティバルで3年連続金賞に輝いている那覇市立仲井真小学校音楽部により楽しく軽快な演奏に胸を弾ませていました。同部の指導顧問は5年前まで仲里小に赴任していた東恩納直樹先生。ステージでは、友情出演の登武那覇太鼓ジュニアのエイサー演舞、ククナオカラケイキのフラ演舞も行われました。



ワッハッハ! 声を出してたくさん笑おう
お笑い健康講座

12月5日、「お笑い健康講座」(主催:ワールドワイド久米島フェスタ事務局)が午後7時からイーブ情報プラザで行われました。予防医学情報研究所の朝川兼行所長を講師に、約80人の町民らが参加。朝川氏の講演は、健康の重要な原則や知識だけでなく、学びあり、笑いありの愉快で楽しい講義を行い全国で人気が高い。今回も、参加者らは2時間大きな声で笑いながら講座を受けました。栄養バランスや肉体の健康について楽しく学びました。



野球を楽しむ大切さをアドバイス
野球教室

プロ野球・西武ライオンズ山川穂高内野手(母親は字仲村渠出身)が12月17日、久米島野球場で野球教室(主催:町青年団協議会)を開催しました。山川選手は中部商業高校時代のチームメイト伊波伸彰投手(沖縄電力)、大城亮外野手(元沖縄電力)に加え、興南高校出身の山川大輔捕手(沖縄電力)ら4名で小中学校野球部員ら約80名を指導しました。技術指導をはじめ、気持ちの持ち方や練習時に意識すること、野球を楽しむ大切さなどをアドバイスしました。



賑やかに新年の幕開けを祝う
久米島町新年会

1月5日、久米島町新年会が具志川改善センターで行われ関係者ら約280名が出席しました。町文化協会古典音楽部会、琴曲部会によるかぎやで風で幕開けし、町長らによる樽酒鏡開きなどで今年1年の町の発展を祈願しました。会の中では、平成29年に叙勲を受章した山城篤三氏(旭日単光章)山城宗太郎氏(旭日双光章)譜久里廣貞氏(旭日単光章)宮里恵美子(瑞宝単光章)の紹介を行い、参加者で激励しました。

